

令和5年度栗原市表彰式

問 総務部総務課 ☎(22)1122

11月23日(木)、栗原文化会館で、令和5年度栗原市表彰式を行いました。
式典では、地方自治、産業、教育文化など、各分野で活躍された81人と1団体を表彰しました。

受賞者 (敬称略・順不同)

地方自治功労
元固定資産評価審査委員会委員 佐藤美千子
元築館成田行政区長 高橋道男



元若柳中行政区長 菊地英夫
元一迫大川口上行政区長 大内親志
元金成有壁一行政区長 三浦良和
元志波姫城内行政区長 菅原敏一

産業功労
栗駒篤沢商工会副会長 佐藤京子
栗駒篤沢商工会理事 佐々木昌則
栗駒篤沢商工会理事 三浦治

教育文化功労
スポーツ推進委員 千葉幸善
白鳥英樹

民生安定功労
民生委員児童委員 岩淵さちえ
高橋文子
後藤とも子
菅原昭一

健康衛生功労
保健推進員 阿部津恵子
佐藤春美
高橋和彦
川井一行

交通安全功労
交通安全指導員一迫地区隊隊長 佐藤貴司

交通安全指導員瀨峰地区隊隊長 門脇正宏

消防防災功労
築館地区副分団長 長谷川厚子
築館地区団部長 鈴木祐子
草橋恵美子
白鳥美樹
阿部文

若柳地区団部長 佐藤るり子
千葉弘美
鈴木由紀
鈴木健

栗駒地区団部長 三浦哲哉
高橋公規
芳賀信朗
千葉竜真
小宮山昭紀
湯澤義昭

若柳地区副分団長 若柳地区団部長 栗駒地区副分団長 栗駒地区団部長 栗駒地区副分団長 栗駒地区副分団長

志波姫地区副分団長 小野浩次
志波姫地区副分団長 阿部慎路
志波姫地区副分団長 水谷彦彦
志波姫地区副分団長 笠原満
志波姫地区副分団長 鈴木光憲
志波姫地区副分団長 今野好孝
志波姫地区副分団長 三浦和栄
志波姫地区副分団長 佐々木美恵子

花山地区副分団長 佐々木美恵子
統計調査員 鈴木保

納税功労
大深沢納税貯蓄組合長 大場悟
神田若宮納税貯蓄組合長 二階堂則由
上荒町第一納税貯蓄組合長 岡崎千年
上富第一納税貯蓄組合長 佐々木孝記
元上田高田納税貯蓄組合長 佐藤守雄

寄付
企業版ふるさと納税 株式会社RS Technologies



令和6年度採用 栗原市会計年度任用職員募集
通年雇用・季節雇用・障害者雇用
おおむね2カ月以上1年以内の期間で雇用します。
●募集する主な職種 業務員、土木作業員など
●申込期限 1月31日(水)
●随時雇用 週の勤務時間が20時間未満または、2カ月以内の期間で雇用します。
採用試験に合格した人を登録し、業務が発生した都度雇用します。
●募集する主な職種 保健師、管理栄養士、歯科衛生士など
□その他の職種 業務員、事務補助員など
●申込期限 随時受付
●共通事項
●試験方法 面接、書類選考
●申し込み 募集要項と申込書は、1月18日(木)から人事課または、各総合支所市民サービス課で配布します。申込書に必要事項を記入の上、申し込みください。
※募集職種や受験資格、申込書の提出先など、詳しくは募集要項

を確保してください。
問 総務部人事課 ☎(22)1159

令和5年度栗原市職員採用試験(初級)
●申込期限 1月11日(木)
●第1次試験日 1月21日(日)
●試験会場 市役所
●試験方法 第1次試験、第2次試験があります。第2次試験は、第1次試験の合格者を対象に行います。
●職種、採用人数 初級(高校卒業程度)
□行政 5人程度
●申し込み 試験案内と申込書は、人事課、各総合支所市民サービス課で配布しています。必要事項を記入の上、人事課に持参または、郵送で申し込みください。
※会場は変更する場合があります。詳しくは、市ウェブサイトを確認してください。問い合わせください。

問 総務部人事課 ☎(22)1159
〒987-2293
栗原市築館薬師一丁目7番1号

建設工事入札参加資格登録に係る評点及び等級変更のお知らせ
令和5・6年度建設工事入札参加資格登録を行っている全事業者を対象に、4月1日以降の評点および等級格付の変更を行いますので、次の期限までに書類を提出してください。
●提出期限 2月29日(木)
※郵送の場合は当日必着
●受付時間 午前9時～午後5時
※土・日曜日、祝日を除く
●提出書類 経営事項審査の総合評定通知書
※審査基準日が、令和4年9月1日以降のものが必要です。
※期限までに提出できなかった場合は、公共工事を受注できなくなります。
※すでに提出している場合は、再提出は不要です。
●提出方法 問い合わせ先に直接持参または、郵送してください。
※詳しくは、市ウェブサイトを確認してください。問い合わせください。

問 総務部管財課 ☎(22)1116
〒987-2293
栗原市築館薬師一丁目7番1号

市内の文化財散策
高田山遺跡は、築館地区にある縄文時代、奈良・平安時代の遺跡です。東西方向に延びる標高50メートル前後の丘陵とその裾野に位置しています。都市計画道路駅前大通線整備事業の工事計画範囲に高田山遺跡が隣接していたため、平成30年度から令和3年度にかけて遺構の有無を確認する調査を行いました。その結果、縄文時代のものと思われる遺構・遺物が確認されたため、令和4年度から2カ年計画で本格的な発掘調査を行うことになりました。
令和4年度に実施した発掘調査では、縄文時代中期中葉(約4500年前)の竪穴建物跡1棟、貯蔵穴※19基、落とし穴1基を確認しました。
今年度の発掘調査は6月に開始し、約1200平方メートルを調査しました。その結果、縄文時代のものと思われる貯蔵穴1基、落とし穴12基、時期不明の土坑1基、溝跡1条を確認しました。落とし穴は、12基のうち8基が調査区の南側にあり、5基は東西方向に

直線状に並んでいます。これらの遺構のうち、貯蔵穴からは縄文土器の破片が出土し、土器の模様から令和4年度の発掘調査で見えられた貯蔵穴と同時期のものと考えられます。
2カ年の発掘調査の結果、丘陵の尾根部分は縄文時代中期中葉の集落、北側の宅地へ続く斜面は縄文時代の狩猟場だったことが明らかになりました。
※ドングリなど、木の実を保存するために作られた穴

問 教育部文化財保護課 ☎(42)3515

▲高田山遺跡 調査区の様子(南西から)

